

第5次結城市総合計画実施計画策定及び行政評価シート

担当部署	部局名	教育委員会		
	課名	スポーツ文化課		
	係名	体育係		
	記入者		電話(内線)	612

1. 事業の概要

(1) 事業種別 [新規又は継続]	<b>継続</b>	(2) 事務事業 の名称	体育施設管理運営事業	(3) 事業の 優先度	<b>A</b>
(4) 総合計画での位置づけ		(6) 事業主体		市	
① 事業の区分	<b>主要事業</b>	(7) 予算・ 財源等 の種別		事業の性質	一般事業費(ソフト事業)
② 施策コード	43101	(総合計画掲載ページ)	109	会計区分	一般会計
基本目標(政策)	4 未来を担う子どもと地域を支える市民を育むまちづくり(教育・文化)		財源区分	市単独	
基本施策	3 誰もが楽しめるスポーツ・レクリエーション活動の推進		予算科目	款 10 項 6 目 2	
施策	スポーツ・レクリエーション活動環境の充実		予算書上の 事業名称	体育施設管理経費 (予算書 184 ページに掲載)	
施策内容	施設の有効活用		(8) 事務分類	自治事務	
(5) 事業期間	開始	昭和 24 年	月から	根拠法令	
	終了	年	月まで ( 力年)	結城市体育施設の設置及び管理に関する条例等	

2. 事業の目的及び内容

(1) 対象 (だれに対して・何に対して行うのか)	(3) めざす姿 (意図・どのような状態になるのか)
施設利用者	適切な維持管理により、「成人週1スポーツ」の実現に向け、利用者が安全にスポーツ等を楽しめる施設とする。
(2) 手段 (事業内容・どのようなことを行うのか)	(4) 事業開始のきっかけや他市の状況など (※ 1-(8)事務分類が法定受託の場合は記入の必要なし)
・川木谷野球場, 才光寺・久保田県民運動公園, 田間グラウンドの管理を委託し, 適切な維持管理を実施する。	体育施設の整備に合わせ, 維持管理を実施。近隣他市も, 市民スポーツの拠点となる施設を有し, 独自に管理を実施している。
(5) 事業をとりまく環境の変化 (社会環境, 市民ニーズ等) や市民・議会の要望, 意見等とそれに対する対応	
優先順位の高いものから改修を実施し, より利用しやすい施設とする。	

3. 事業コスト

行政評価 実施計画	実績内容の評価	検討・改善	検討・改善内容を反映
● 予算内訳	実績額 (千円)	当初予算額 (千円)	計画額・見込額 (千円)
事業内容	26 年度	27 年度	28 年度    29 年度    30 年度
(1) 事務事業費の コスト	事業費		
	需用費	130	420
	役務費	2	2
	委託料	2,165	3,699
	使用料及び賃借料	49	65
	原材料費	13	92
	備品購入費	0	0
	工事請負費	0	0
合計	2,359	4,278	
財源	国庫支出金 (千円)		
	県支出金 (千円)		
	地方債 (千円)		
	その他特定財源 (千円)		
	一般財源 (千円)	2,359	4,278
合計 (千円)	2,359	4,278	
補助・起債制度名			

#### 4. 指標の検証（活動指標・成果指標）

指標の名称		単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
<b>(1) 活動指標（実施した事業の内容）</b>							
指標名	施設数	目標値	個所		4	4	4
		実績(見込)値		5	4		
指標名		目標値					
		実績(見込)値					
<b>(2) 成果指標（事業実施によるめざす姿の達成度）</b>							
指標名	施設利用者数 (才光寺, 久保田, 田間, 川木谷)	目標値	人		16,000	16,000	16,000
		実績(見込)値		15,480	16,000		
		達成率		96.8 %	100.0 %		
		目標値					
指標名		実績(見込)値					
		達成率		%	%		

#### 5. 事業評価

(1) 平成26年度の行政評価結果をうけて、平成26年度に取り組んだ改革改善点があれば記載してください。

施設の適切な維持管理を図るとともに、必要な修繕等を実施。

#### (2) 項目別評価

評価項目・客観的評価				理由
必要性	事業の必要性	A	必要性は高い	市民週1スポーツのため、今後も適切な管理を実施。
妥当性	実施主体の妥当性	A	妥当である	現在のやり方が、一般的である。
	手段の妥当性	A	妥当である	現在のやり方が一般的である。
効率性	コスト効率 人員効率	A	改善の余地はない	・川木谷野球場は委託を入札で執行し、適正な価格である。 ・才光寺, 久保田, 田間は、自治会等に委託し、経費を抑えている。
公平性	受益者の偏り	A	偏りは見られない	市民の誰もが利用できる施設であり、公平性は確保されている。
有効性	成果の向上	B	どちらとも言えない	適切な管理が行われており、特に問題ない。
進捗度	事業の進捗	B	どちらとも言えない	修繕等、緊急性が高いものから順次実施している。

(3) 総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください。

各施設とも概ね適正に管理しているが、老朽化している部分もあり、安全上随時必要な措置を講じていく必要がある。

(4) 対応策・提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか？

今後も各施設の維持管理を委託し、適切な管理運営に努める。

#### 6. 事業の方向性判断

評価主体	27年度以降の事業の方向性	評価理由・根拠
(1) 記入者評価 記入者が評価を行う	<b>改善・改革しながら継続</b> (成果向上・コスト維持又はコスト削減, 成果維持・コスト維持又はコスト削減)	注) 記入者は「5. 事業評価」を記載するため、この欄は未記入で結構です。
(2) 一次評価 担当課長が評価を行う	<b>改善・改革しながら継続</b> (成果向上・コスト維持又はコスト削減, 成果維持・コスト維持又はコスト削減)	心身の健康の維持向上、活力ある生涯スポーツ社会の実現のため、スポーツ施設等の充実を図り、誰もが気軽にスポーツ・レクリエーションを楽しむことのできる環境づくりを目指す。
(3) 最終評価 企画調整会議において評価を行う		上記評価のとおり。